

－ポイント４－

- 道徳的価値について理解する
- 自分との関わりで道徳的価値を捉える
- 道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題を培う

道徳的価値の自覚を図る上で、次の事柄を押さえることが重要です。

(1) 道徳的価値について理解する

思いやりの心とはどういうことか、生命を大切にするとはどういうことか、といったことを、子どもが自らの体験や学習したことを基に理解を深めます。そのことは、人間理解、他者理解を深めることにつながります。

価値理解	・道徳的価値は大切であること
人間理解	・道徳的価値は大切であるが、実現することは難しいこと ・実現することは難しいが、実現させる気高さや力強さ、誠実さなどをもっていること
他者理解	・道徳的価値の実現に向けては、多様な感じ方、考え方があること

(2) 自分との関わりで道徳的価値を捉える

道徳的価値を、事実を基に客観的に見るだけでは自覚には至りません。道徳的価値は自分も育てているものであり、自分が人間として生きていく上で大切なものであるという意識をもてるようにします。そして、道徳的価値を通して自己理解を深められるようにします。

(3) 道徳的価値を自分なりに発展させていくことへの思いや課題を培う

子どもが自らを省みながら、また、自分のこれからを見据えながら、道徳的価値をどのように自分らしく身に付け、高めていけばよいかを考え、そのための課題をつかめるようにします。

子どもたちの道徳性は、道徳的価値の自覚を深めることによって発達します。友達や周りの人々に親切にしなければならないと分かっているにもかかわらず、心が動かないこともあるし、態度や行動に移せないときもあります。人間を尊重するといっても、意見や感情などの対立がある場合にどうするかなどの問題もあります。このような具体的な状況に即して、内面的な葛藤や感動などを体験し、そのことを基に、一人一人の子どもたちが道徳的価値の大切さやすばらしさを心の底から感じられるような道徳の時間の指導に心掛けましょう。